

京都市交響楽団
第683回
定期演奏会

太田弦の日本とフランス ～遠くて近い Si loin et pourtant si près

フライデー・ナイト・スペシャル は
いつもと違う!

～気軽にオーケストラ・サウンドが楽しめる、
それが「フライデー・ナイト・スペシャル」!～

- ★ 夜7:30開演なので、仕事帰りにも行きやすい!
- ★ 休憩なし、約1時間のプログラムで早く終演!
- ★ 土曜日公演とは違う親しみやすい曲のセレクトで、
◎・●2日間とも楽しめる!
- ★ リーズナブルな料金設定で来場しやすい!

開演前

(10/13[金]公演=午後7時ころから/
10/14[土]公演=午後2時ころから)

は指揮者による
「プレトーク」で
お楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上
にて開催します。

フライデー・ナイト・スペシャル

2023 **10/13[金]** **10/14[土]**
午後7時30分開演 午後2時30分開演
(午後6時30分開場) (午後1時30分開場)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

Fri, October 13, 2023 / 7:30PM

Sat, October 14, 2023 / 2:30PM

Kyoto Concert Hall

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

京都市交響楽団

指揮:
太田 弦

Conductor: Gen Ohta
©ai ueda

ピアノ:
アレクサンドル・タロー*

Piano: Alexandre Tharaud*

10/13[金]公演 **フライデー・ナイト・スペシャル** 休憩なし・約1時間プログラム
Fri, October 13 <Friday Night Special> about 1 hour with no intermission

ドビュッシー: 前奏曲集 第1巻から (ピアノ独奏)*

1. デルフィの舞い姫たち
3. 野を渡る風
6. 雪の上の足跡
10. 沈める寺
7. 西風の見たもの

尾高尚忠: 交響曲 第1番 作品35

Debussy: Préludes, 1^{er} livre - (piano solo)*

1. Danseuses de Delphes
3. Le vent dans la plaine
6. Des pas sur la neige
10. La cathédrale engloutie

Hisatada Otaka: Symphony No.1 op.35

10/14[土]公演 Sat, October 14

ラヴェル: スペイン狂詩曲

ラヴェル: ピアノ協奏曲 ト長調*

武満徹: 波の盆

尾高尚忠: 交響曲 第1番 作品35

Ravel: Rapsodie espagnole

Ravel: Piano Concerto in G major*

Toru Takemitsu: Nami no Bon

Hisatada Otaka: Symphony No.1 op.35

入場料 2023.8/18 ◎から発売

10/13[金]公演 **フライデー・ナイト・スペシャル**
¥4,000円 ¥3,500円 ¥3,000円 ¥2,000円 ¥1,500円 (舞台後方席)

10/14[土]公演
¥5,500円 ¥5,000円 ¥4,000円 ¥3,000円 ¥2,000円 (舞台後方席)

「U22」(当日残席がある場合のみ発売)

10/13[金]公演 **フライデー・ナイト・スペシャル** ¥1,500円 ¥1,000円 ¥500円 ¥500円

10/14[土]公演 ¥2,000円 ¥1,500円 ¥1,000円 ¥1,000円

※ 22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売(当日券売場にてお買い求めください)。

電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。

ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。

チケット
ご予約

お問
い合
わせ

●京都コンサートホール (075) 711-3231

●ロームシアター京都 (075) 746-3201

●24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード227-674

●ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード53777

京都市交響楽団 (075) 222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →

京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。

◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



- ◆ 1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2023年10月6日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
- ◆ 10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
- ◆ 障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱い(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。

主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



協賛: ローム株式会社

協力: 株式会社ドルチェ楽器

後援: (株)エフエム京都

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

ROHM
SEMICONDUCTOR

1994年生まれの太田弦は第17回東京国際音楽コンクール第2位と聴衆賞を受賞。日本各地のオーケストラに客演。2023年4月から仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者、2024年4月からは九州交響楽団首席指揮者に就任予定。ソリストのアレクサンドル・タローはバッハ、スカルラッティ、ドビュッシー、ラモー、ショパンのレパートリーを中心にチャレンジングなアプローチを展開している現代的なピアニストです。ラヴェルのト長調の協奏曲は十八番中の十八番。名人芸をたっぷりお楽しみください。またフライデー・ナイト・スペシャルではドビュッシーのピアノ独奏曲を披露してくれますので、併せてお楽しみください。そして土曜日のプログラム後半で太田が取り上げる武満徹「波の盆」は、1996年にドラマ音楽を演奏会用に編集したもの。1948年に発表された尾高尚忠が作曲した「交響曲第1番」は未完でしたが、その後、第2楽章が発見され、完全版として2006年に世界初演が行われました。指揮者でもあった尾高は1939年にベルリン・フィルを指揮し、その後帰国して指揮と作曲の両輪で当時の日本のクラシック音楽界を牽引した音楽家です。若手のホープ、太田弦が自信を持ってお贈りするこのプログラム。彼のアプローチに是非ご期待ください。

京都市交響楽団
第683回
定期演奏会

The 683rd Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

Conductor: Gen Ohta

指揮 太田 弦

1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。東京藝術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を卒業。2015年、第17回東京国際音楽コンクール(指揮)で2位ならびに聴衆賞を受賞。指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィなどの各氏のレッスンを受講する。これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。2019年4月から2022年3月まで大阪交響楽団正指揮者を務める。2023年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者に就任、2024年4月より九州交響楽団首席指揮者に就任予定。第30回(2022年度)渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。2021年2月、オクタヴィア・レコードより交響曲 第8(9)番 八長調 D944「ザ・グレイト」(新日本フィルハーモニー交響楽団公演ライブ収録)をリリース、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言開けに行われた公演の緊張感の中、太田のエネルギー溢れる「グレイト」が聴衆の話題をさらった。

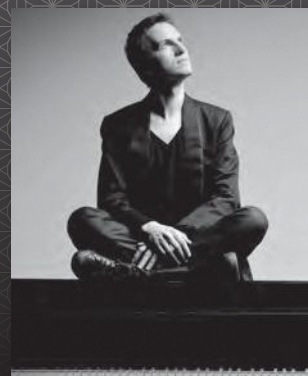


©ai ueda

Piano: Alexandre Tharaud

ピアノ アレクサンドル・タロー

アレクサンドル・タローは25年に及ぶキャリアを通じ、クラシック音楽界における唯一無二の地位を築き、フレンチ・ピアノの担い手として活躍している。クーラン、バッハ、スカルラッティからモーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ショパン、ブラームス、さらにラフマニノフや20世紀の著名フランス人作曲家にいたる幅広いレパートリーを録音したソロ・アルバムは25枚を超え、そのほとんどが主要音楽専門誌の賞に輝いている。また、演劇制作者、ダンサーなどクラシック音楽以外のジャンルの音楽家たちとのコラボレーションを通じて、多彩な芸術的試みにも挑んでいる。ソリストとして、最近ではバイエルン放送響、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、フィラデルフィア管など世界の一流オーケストラと共演。世界の主要なコンサートホールでのリサイタルも多い。エラート・レコーズと専属録音契約を結び、活発な録音を行っている。2017年、ピアニストとしての自らの日常生活を興味深く語った著書『Montrez-moi vos mains』を出版。2021年、フランスの音楽大賞ヴィクトワール・ド・ラ・ミュージック・クラシックより、インターナショナル・ソリスト・オブ・ザ・イヤー賞を授与された。2022年には映画音楽を特集した『シネマ』と題するCDをリリースし、2023年は4手プロジェクトに挑むなど、視野の広い活動を精力的に展開している。



©Marco Borggreve

City of Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞、同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収めた。平成28年度地域文化功労者表彰、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一(2022年3月まで)、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド(2023年3月まで)が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任、さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリースが就任予定。京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上亨真事務所 井上嘉和

次回予告

©Marco Borggreve

2023.9/23(土)から発売!

第684回
定期演奏会

シルヴァン・カンブルランの

ブルックナー「ロマンチック」とモーツァルト「パリ交響曲」

日時: 2023年11月25日(土) 午後2時30分開演 会場: 京都コンサートホール
指揮: シルヴァン・カンブルラン

曲目: モーツァルト: 交響曲 第31番 ニ長調 K.297 「パリ」
ブルックナー: 交響曲 第4番 変ホ長調 「ロマンチック」(1888年稿 コーストヴェット版)

入場料: S 5,500円 A 5,000円 B 4,000円 C 3,000円 P 2,000円(舞台後方席)